



(第 17 図)

(19) 高山町絵図 (第 17 図)

年代 幕府直轄地時代後期

寸法 39.0×53.6

所蔵 高山市郷土館 (矢嶋家文書)

この図は第 15 図と共通する記載があり、神明町通りの搦屋 8 カ所、道路の線形など類似する。矢嶋家旧蔵絵図である。

江戸時代後期になると、空町の侍屋敷跡の耕地にも、島川原町の通りを中心に町家が増えている。また高山町の西側に隣接した家並は、花里町・七日町村の地内で町方と呼ばれ、建家人口は高山町、地処は村方の管轄下に置かれた特殊な地域であった。ここがすべて村方に返されたのは明治 20 年になってからである。

幕府直轄地時代の、高山町絵図の年代を推定する上での目安にえび坂の改修がある。これは文化 15 年 2 月から文政元年 6 月までの 4 カ月間で、途中で曲がっていた坂を直線に変更する工事が行なわれた。この工事については「衣斐坂御普請出来形仕上り帳」によると、坂の上方長さ 28 間、平均巾 4 間、同深さ 2 間を掘り下げ、曲りの所は長さ 5 間、平均巾 6 間、同深さ 5 尺を掘り下げている。また坂の北側 27 間と南側に 13 間 2 尺、高さ平均 27 尺の石垣を積み上げている。

えび坂改修の翌文政 2 年 6 月には中橋下手に始めて筏橋が架けられ、記載がある。金森時代の柵形橋の記載はない。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。